

# 平成26年度実施「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」集計結果等の概要

神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課

平成26年度、全県立高校を対象に行った「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」の集計結果を取りまとめました。今後の県立高校改革の動向を踏まえ、分析結果を活用しながら、魅力と特色ある県立高校づくりに生かしてまいります。

## I 実施対象

生徒	全県立高校（全課程）の卒業学年・年次の生徒
保護者	上記生徒の保護者
新タイプ校教員	「県立高校改革推進計画」に基づき開校した、新しいタイプの高校37校43課程の常勤教員（対象校は別紙参照）
学校評議員	「県立高校改革推進計画」に基づき開校した、新しいタイプの高校37校43課程の学校評議員（対象校は別紙参照）

## II 実施時期

平成26年12月～平成27年3月

## III 集計区分

課程	学科	学びのしくみ	校数	対象校
全日制	普通科	学年制	96	鶴見、横浜翠嵐、城郷、港北、新羽、岸根、霧が丘、白山、市ヶ尾、田奈、元石川、川和、荏田、新栄、希望ヶ丘、旭、松陽、瀬谷、瀬谷西、横浜平沼、光陵、保土ヶ谷、舞岡、上矢部、金井、横浜南陵、永谷、柏陽、横浜緑ヶ丘、横浜立野、磯子、氷取沢、釜利谷、新城、住吉、川崎北、多摩、生田、百合丘、生田東、菅、麻生、横須賀、横須賀大津、追浜、津久井浜、大楠、逗子、逗葉、鎌倉、七里ガ浜、大船、深沢、湘南、藤沢西、湘南台、茅ヶ崎、茅ヶ崎北陵、鶴嶺、茅ヶ崎西浜、寒川、平塚江南、高浜、大磯、二宮、秦野、秦野曾屋、伊勢原、伊志田、西湘、足柄、大井、山北、厚木、厚木東、厚木北、厚木西、海老名、有馬、愛川、大和、大和南、大和東、大和西、座間、綾瀬、綾瀬西、麻溝台、上鶴間、上溝、相模原、上溝南、橋本、相模田名、城山、津久井
		単位制	11	神奈川総合、横浜旭陵、横浜桜陽、横浜栄、川崎、三浦臨海、平塚湘風、小田原、厚木清南、藤沢清流、相模原青陵
	総合学科	単位制	11	鶴見総合、横浜緑園総合、横浜清陵総合、金沢総合、大師、麻生総合、藤沢総合、秦野総合、座間総合、相模原総合、吉田島総合
	専門学科	学年制	16	神奈川工業、二俣川看護福祉、商工、磯子工業、川崎工科、向の岡工業、横須賀工業、藤沢工科、平塚農業、平塚工科、平塚商業、小田原総合ビジネス、小田原城北工業、厚木商業、中央農業、相原
単位制		5	横浜国際、横須賀明光、海洋科学、神奈川総合産業、弥栄	
定時制	普通科	学年制	7	横浜翠嵐、希望ヶ丘、横須賀、追浜、茅ヶ崎、伊勢原、津久井
		単位制	5	川崎、小田原、厚木清南、湘南、相模向陽館
	総合学科	単位制	5	磯子工業、向の岡工業、平塚商業、秦野総合、神奈川総合産業
	専門学科	学年制	3	神奈川工業、平塚農業初声分校、小田原城北工業
通信制	普通科	単位制	2	横浜修悠館、厚木清南

#### IV 実施内容

生徒の回答者数及び回答率

区分		対象者数	回答者数	回答率	
全日制	普通科	学年制	27,006 名	23,269 名	86.2 %
		単位制	2,692 名	2,399 名	89.1 %
	総合学科		2,592 名	2,150 名	82.9 %
	専門学科		4,467 名	3,979 名	89.1 %
定時制		1,237 名	847 名	68.5 %	
通信制		403 名	349 名	86.6 %	
全体		38,397 名	32,993 名	85.9 %	

保護者・新タイプ校教員の回答者数および回答率

	対象者数	回答者数	回答率
保護者	38,397 名	13,239 名	34.5 %
新タイプ校教員	2,144 名	1,727 名	80.6 %

#### V 結果の概要（次項以降）

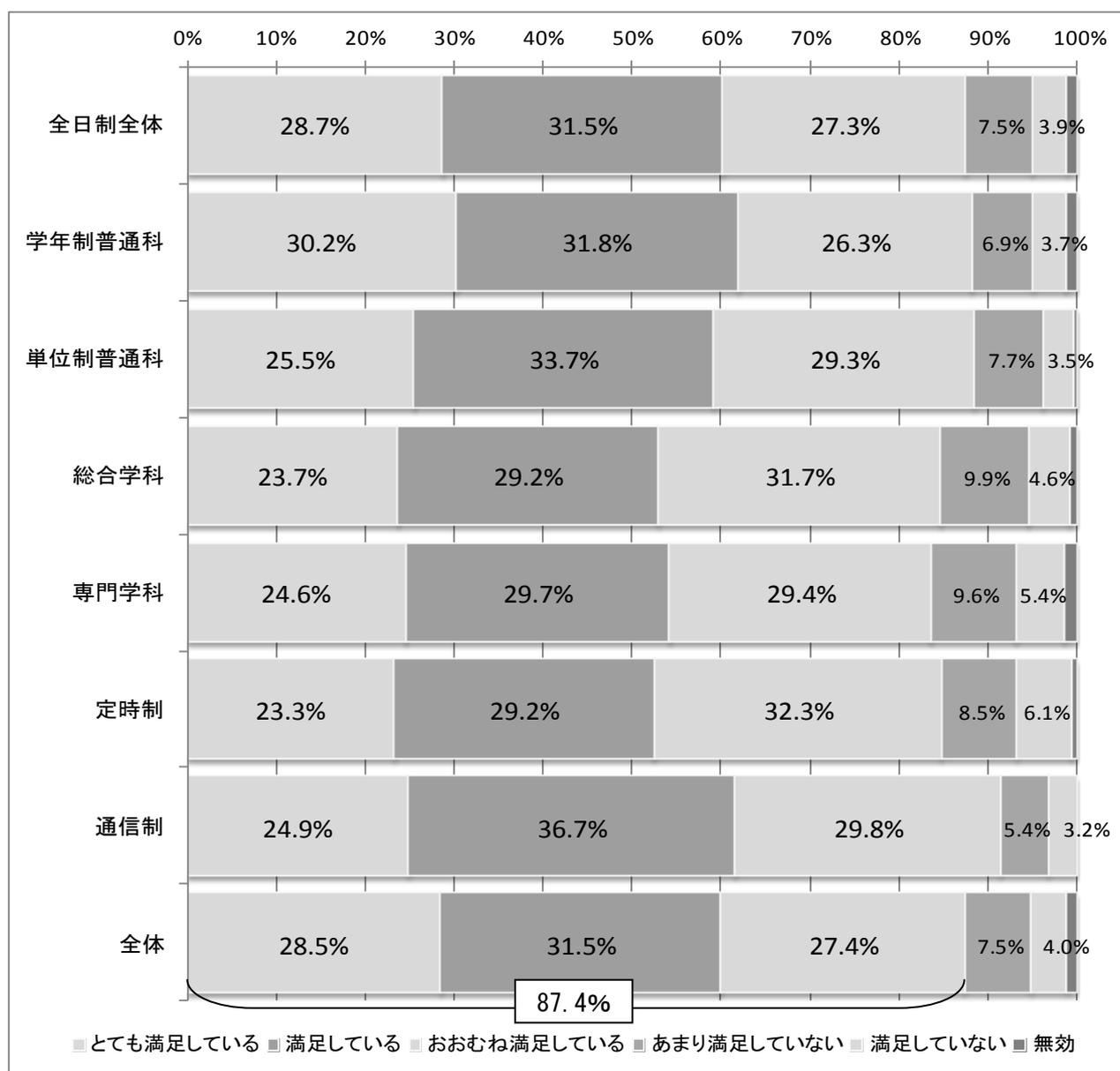
- 1 生徒向けアンケート結果
  - (1) 高校生活を振り返って、あなたが通っている学校に満足していますか。
  - (2) キャリア教育によって自分が成長できたと思いますか。
  - (3) 学校の授業や学習活動が将来の自分のために役に立つと思いますか。
- 2 生徒と保護者の満足度の比較
- 3 学校評議員の意見
- 4 新タイプ校教員向けアンケート結果

# 1 生徒向けアンケート結果

学習希望や興味・関心に応じることができるよう、特色ある科目の設置や、学校行事、部活動等の多彩な活動の提供など、活力と魅力ある県立高校をめざして取り組んできたが、この取組を検証するため、アンケートを実施した。

## (1) 高校生活を振り返って、あなたが通っている高校に満足していますか。

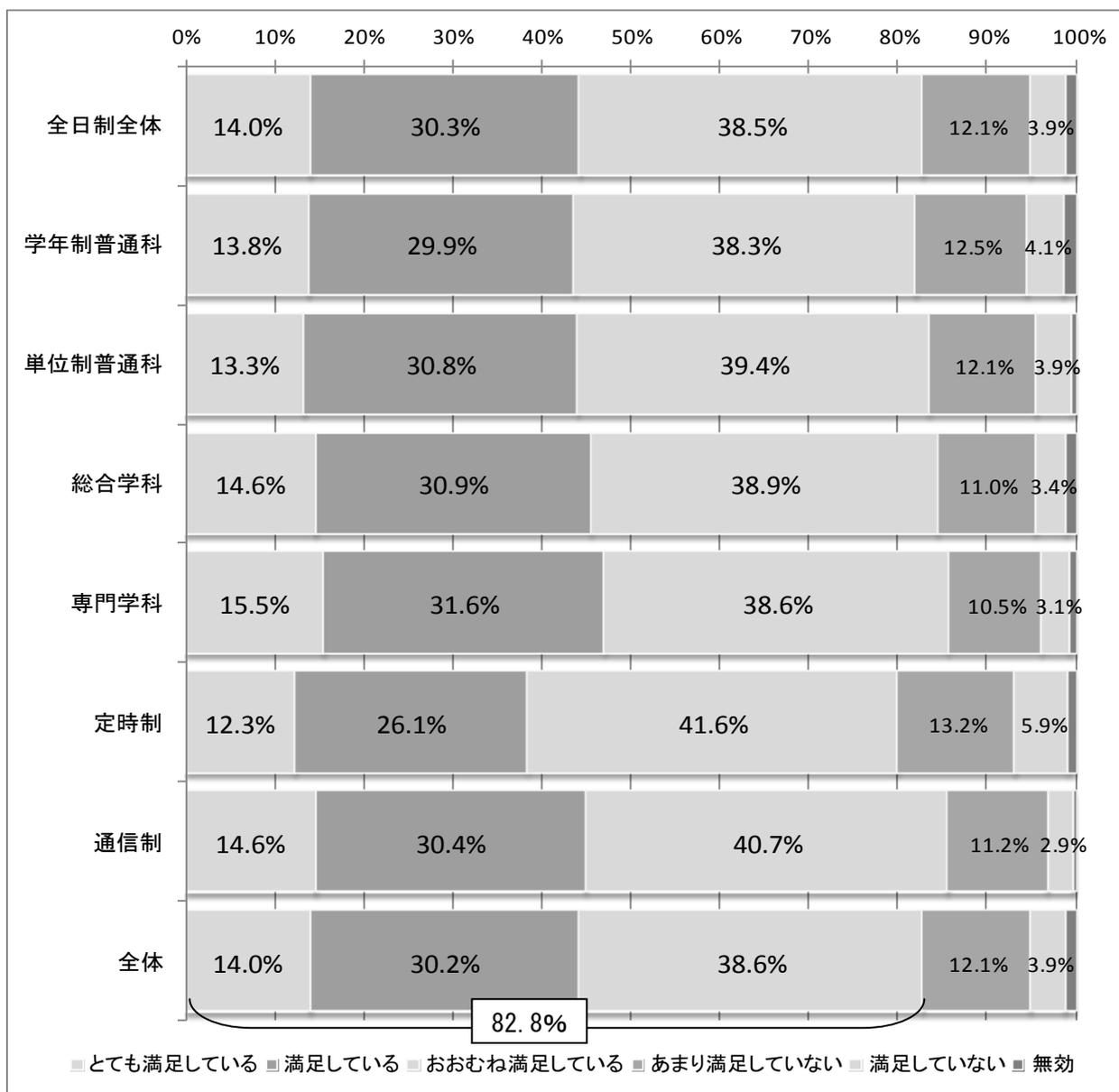
「高校生活を振り返って、あなたが通っている高校に満足していますか。」という設問に対して、「とても満足している」「満足している」「おおむね満足している」のいずれかに回答している生徒（以下「満足群」という。）は、回答者全体の87.4%となり、平成24年度（86.6%）、平成25年度（87.2%）と、その割合は年々高まっている。



## (2) キャリア教育によって自分が成長できたと思いますか。

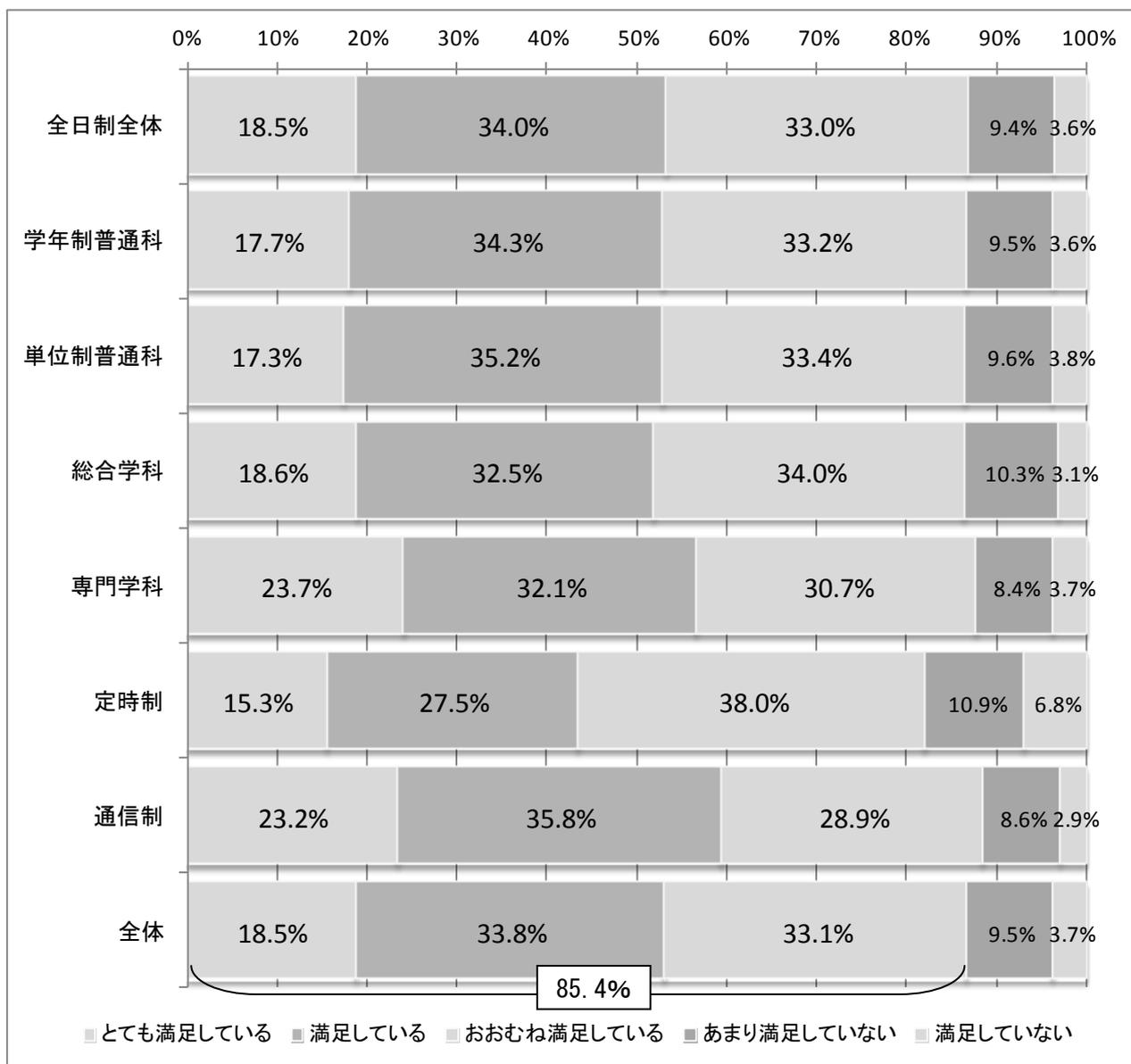
「生涯を通じた自分の生き方・あり方について考え、勤労観・職業観を身に付けるための教育（キャリア教育）により、自分が成長できたと思いますか。」という設問に対して、満足群は、回答者全体の82.8%となり平成24年度（80.5%）、平成25年度（82.3%）と、その割合は年々高まっている。

全日制の課程での満足群は、専門学科が85.7%（平成22年度81.0%、平成23年度82.5%、平成24年度84.5%、平成25年度86.1%）となり、平成22年度調査開始以来、一貫して他の学科より高い割合になっている。



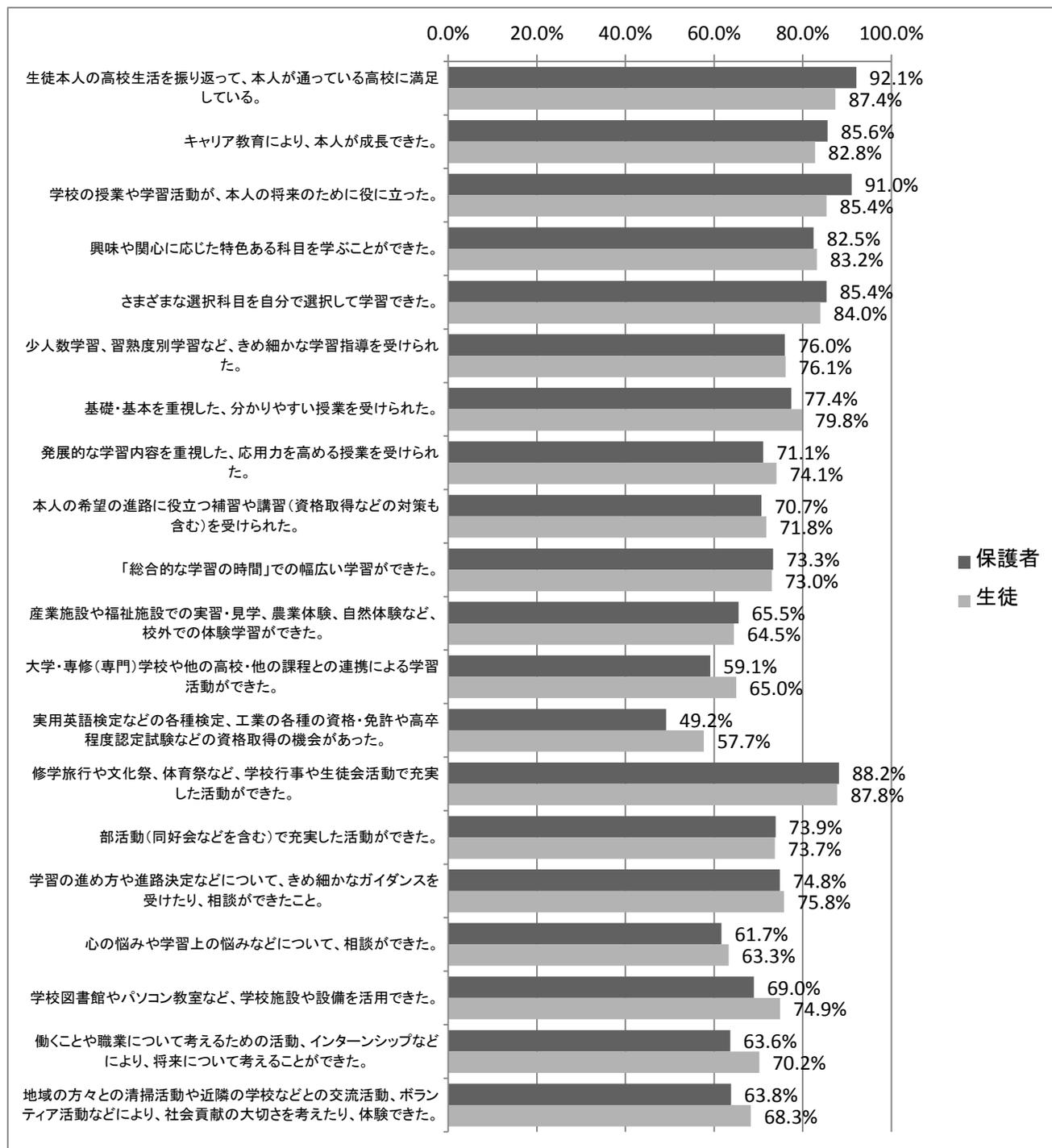
### (3) 学校の授業や学習活動が将来の自分のために役に立つと思いますか。

「学校の授業や学習活動が、将来の自分のために役に立つと思いますか。」という設問に対して、満足群は、回答者全体の85.4%となり、平成25年度（83.7%）に比べて1.7ポイント上昇している。個別に見ると、全日制専門学科の満足群が86.5%（平成25年度87.0%）、通信制課程の満足群が87.9%（平成25年度85.7%）と、他より高い割合になっている。



## 2 生徒と保護者の満足度の比較

生徒と保護者共通の設問について、それぞれの満足群を比較した。「生徒本人が通っている高校に満足していますか。」という設問に対する保護者の満足群は92.1%と、生徒の満足群（87.4%）より高い割合になっており、平成25年度の保護者の満足群（90.8%）より1.3ポイント上昇した。また、「学校の授業や学習活動が本人の将来のために役立った」との設問は、保護者の満足群の割合（91.0%）が生徒の割合（85.4%）よりも5.6ポイント高くなっている。また、一方で「実用英語検定などの各種検定、工業の各種の資格・免許や高卒認定程度試験などの資格取得の機会があった」という設問では、保護者の満足群の割合が生徒の割合より8.5ポイント低くなっている。



### 3 学校評議員の意見

【対象】 「県立高校改革推進計画」に基づき開校した、新しいタイプの県立高校37校の学校評議員

【対象校】 別紙参照

【内容】 新校についての印象や新校に期待することなど、新校への意見

【意見集約の方法】 各学校において、学校評議員会を通じて伺った意見を、「これからの県立高校のあり方」の6つの柱に分類し、取りまとめた。

#### (1) 幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育の展開 <教育課程>

- 教育課程では、希望生徒の80%程度が受講できたことは、科目設定が生徒の受講ニーズとおおむね合致していると考えられる。今後は、社会の変化や進学傾向の変化をみながら、科目設定の検討を続けていく。
- 生徒の質が変わったのか、また生徒が総合学科に求めるものが変わったのか。卒業生の動向を注視し、現在のプログラムを見直す。
- 特色科目と共通教科がうまく接続できるようなカリキュラムを考えていくと良いのでは。
- 学校外での学習や活動を単位認定する取組みを推進、拡大してほしい。
- 総合学科は多様な生徒が入学しているので、意欲別・習熟度別学習の導入は、幅広い学習に対応する多様で柔軟な教育の一方法でとても良い。
- 開校後10年がたち、特色ある校風が更に強化され、生徒、保護者、地域に伝わるようにするべきである。見過ごされがちな「ものづくり」や若者の「理科系離れ」に対処できるような検討もしてほしい。
- 生徒評価、保護者評価、職員評価とも「総合的な学習の時間」や「校外体験学習、学習活動」に高い評価を得ており、総合学科としての魅力を感じる。
- 多様な科目が用意されているのだから、実践的な語学力、国語力を培うことはこれから社会に出る生徒たちには必須事項なので、そのような基本的で必須な講座が充実するとよい。
- 幅広い学習ニーズに応えた多様な選択機会が用意されている。単位制高校として適切な科目配置がなされている。
- 科目選択の方法についての説明は、生徒の目線に立ってわかりやすい内容である。一方で、生徒の学習ニーズと社会の求める学習内容が乖離する可能性もあるので適度に見直しが必要である。
- 総合学科としての特徴が見えるような取組みをしてもらいたい。
- 三課程一体型のフレキシブルスクールとしての教育活動の推進に向け、具体的な目標を設定し、計画的・組織的に学校運営に取り組んでいる。今後も各課程の特色を活かしながら、連携体制を強化し特色ある学校づくりの推進に向けて努力してほしい。
- 系列の教育課程において、この科目を選択したら何が出来るようになるのか、この科目がどのような科目につながっているのか、などを明確にすることで、生徒の学ぶ姿勢が変わるのではないか。
- 多様なニーズに対応できる教育課程の検討は、評価できるが、実際には困難も多いと思う。魅力的であること、第三者にとって分かりやすい表現も意識すべき。

#### (2) 生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援 <生徒指導・生徒支援>

- さまざまなニーズを持って入学してくる生徒への「個別相談」は通信制教育にとって重要な情報収集手段であり、一人ひとりにとって必要な教育を見極めるためにも、今後もその体制を維持充実していただきたい。

- 科目を選択するといっても、苦手な科目はがんばらなくてよいということではない。きちんと向きあっていくことでモラル形成につながる。苦手を乗り越える、伸ばすという視点も大切だ。
- 特色的な教育と受験対応のバランスを図りたい。進学を意識するのはよいが、社会性を身につけることも重視していく。
- 新しい学校になって業者委託しているようだが、トイレなどの清掃において、業者やサポーターの手を借りず生徒自身で学校をきれいにする意識が高まると良い。
- 外国につながりのある生徒や不登校を経験しているであろう生徒等、様々な生徒が卒業までたどり着いたのだなと思った。今後も定時制の生徒に対し、本気で向き合い支援を続けていただきたい。
- 部活動の加入率が低く、単位制は部活動に取組みにくいと聞くが、協調性が育ち、高校生活の貴重な体験なので、その大切さを伝えてほしい。いくつかの部活動は、実績も高く、活動は非常に活発である。しかし、部活動のなかには、部員数も少なく、活動もそのためしぼみがちなところもあるようである。さまざまな部活動での活性化に工夫が欲しい。
- 全定一体型のフレキシブルスクールは学校運営にご苦労が多いと思われるが、その利点を生徒にPRし、自律的で意欲的な生活・学習態度を身に付けさせてほしい。
- 定時制では、就労学生が減っている。ニーズも含めてどのように検証しているか。
- 創立から関わっているが、生徒の様子はよくなっている。服装や言葉遣い、あいさつもしっかりしており、応対もさわやかである。生徒の規範意識をいっそう高めるよう、しっかり指導して欲しい。頭髪指導を厳しくしていることはよいことである。規範意識の醸成という観点からも望ましい。頭髪指導のことを各中学校にもアピールしたほうがよい。
- 多部制定時制高校としてのミッションからして生徒理解のための研修等継続する必要がある。また、きめ細かな生徒対応を実践するため、個別生徒のクールダウンのスペース確保などは、当然なされるべきものと思われる。

### (3) 確かな学力の向上 <学習指導・授業改善>

- 学校が外部から評価されるのは教員の授業の質である。学校としての組織的な授業改善を進め、生徒主体の授業によって「高校の授業は楽しい」と生徒に思ってもらえるよう90分間を展開してほしい。
- 中学校からの接続をスムーズにするという目的で、1年次の必修科目をクラス単位で行っているが、逆に単位制としての特色は見えにくくなってきている。また、卒業に必要な単位を満たすというだけで科目選択させるのではなく、進路希望に応じた科目選択を生徒に意識させてほしい。
- 新しい学校としてICT利活用教育を積極的に行うのはよいが、先生が使っただけで何かをやった気にならず、生徒と面と向かった授業をする大切さも忘れないでほしい。
- 学科として福祉マインドの育成に向け小中高と各々の年代に合った福祉実体験を継続的に重ねることが重要である。障がいのある人の模擬体験は効果的である。
- 国際科としてグローバル化への対応をさらにすすめる。自国の文化歴史を伝えられる生徒の育成も必要だろう。
- 総合学科として多様な生徒がいる中で「授業における言語活動の充実」は、コミュニケーション能力の育成にもつながり、非常に意義ある取り組みだと思う。是非、今後とも組織的に推進されることを期待している。
- 単位制において、自ら学ぶ力を養い、主体的学習を促すうえで、アクティブ・ラーニング型の授業は有効である。このような新しい学び方において推進校となっている点は高く評価する。さらに、学力については定期的に測るシステムを構築してもらいたい。
- 新しい学校になって資格取得に積極的に取り組んでいる生徒がいる。さらに多くの生徒に取り組みせ、勉強する雰囲気になるとよい。

○生徒による授業評価では、「授業の充実感」や「生徒主体の授業の工夫」の項目が低い。単位制では習熟度別授業も組みやすいので、アクティブ・ラーニングを取り入れ生徒が授業に参加していると思える授業を行う必要がある。

#### **(4) 社会生活実践力の育成 <キャリア教育>**

- 若い高校生の世代で、実社会のことを考えることは意味がある。実社会でどのような人が求められているのか、そのために高校では何をしておくべきか、考えることは良い。
- 出口指導（高校卒業後の進路指導）について、いっそうの指導強化を期待したい。
- 社会人になって、高校時代に目指したこととミスマッチが生じないようキャリアガイダンスを行って行くことが重要だ。社会の各分野を知る機会を多く与えてやりたく支援したい。
- 資格取得ができてきている点は良い。進学でも就職でも卒業後の状況の把握も大切。もし、離学、離職率が高いなら、在学中の教育をどうすべきかを考える必要がある。
- キャリア教育の取組や、高大連携などによる大学生活をイメージさせる取組みが進んでいる。有名大学に入学することではなく、社会人として自分も他人も大切にして、生き生きとして生活していることに繋がっていくので、更に推進して欲しい課題である。
- 「生きる力」をどのように育成するのか。年次に応じたキャリアサポート体制の充実を図る必要がある。

#### **(5) 地域との協働・連携による開かれた学校づくり <地域等連携>**

- 高齢者が多いので、災害が発生したときには、高校生にも手伝いをしてほしい。地域の防災訓練にも参加してほしい。
- 地域連携は、あらゆる機会をとらえて実施すべきと思うが、教職員、生徒の負担を考慮し、年度ごとに見直しながら取り組むことが必要と思う。
- 地域との交流を大切にされていることは素晴らしい。質、量ともに充実しており、三世代交流会は注目すべき取組みである。
- 定時制の取組、特に演劇部を代表する部活動も活発になっている。そうした部分を地域の人々にもっと発信できるよう効果的な方法を工夫してほしい。
- 中学校での出前授業の実施は、中学生にとっては新鮮であり進路に大きく影響を与えているので継続してほしい。また、中学生にとって高校の教育活動の理解にも繋がっている。
- 防災、ボランティア、行事等ばらばらの感がある。地域連携を担う係りが必要ではないか。
- チャレンジショップの運営等を通して、地域連携を図っている。また、特色となる活動である。今後も小売りの実践教育を目指し、更なる飛躍をしてほしい。
- 高校生による防犯活動は、一定の小学校だけでなく地域の公民館やこどもセンターでの実施もお願いしたい。
- 夜間の防災訓練や三課程合同の防災訓練など防災に関する活動が推進されている。今後は防災訓練への地域住民の参加や地元自治会の防災活動への参加など、地域との防災連携体制の強化を図る必要がある。

#### **(6) 信頼に根ざした学校づくりの推進 <学校運営・学校管理>**

- 高校段階としても長期入院生徒への教育の機会の保証は必要である。そのための人的措置、時間的配慮への対応が望まれる。
- 学校目標について、具体的に見えやすい様式を工夫して欲しい。
- トイレは学校の鏡なので改修はなるべく早くに行ってもらいたい。トイレの改修は、教育委員会に働きかけを行うなど、早期の改修を望んでいる。

- 定時制の生活体験発表会は、本当に勉強になる良い学習機会なので、大勢の人に聞いてもらいたい。
- 学校生活の満足度を把握する生徒向けアンケートから、何が満足度を上昇させているかを分析するとよい。学校の強みをいかに伸ばすかが大切である。
- 単位制の特色が生かされているのかをメリットとデメリットの両面を考慮して検証してほしい。また、生徒の社会性・協調性の育成に必要なクラス活動とのバランスをどうとるかについても今後の課題としてほしい。
- 三課程一体型のフレキシブルスクールとしての柔軟な学びのシステムや定時制・通信制生徒の学びの様子を積極的に外部へ発信し、学びの特色や各課程の状況等についてさらに理解を深めてもらう必要がある。
- あれもこれもとやりすぎて検証が追いつかない面があるのではないか。検証の仕組みがあればよい。

## 4 新タイプ校教員向けアンケート結果

【対象】「県立高校改革推進計画」に基づき開校した、新しいタイプの県立高校37校の常勤教員

【対象校】別紙参照

「進路に関するガイダンス」「資格取得による単位認定についての情報提供や資格取得ができていない」の設問に対して、「十分にできている」「できている」「概ねできている」と回答した「達成群」が92.1%、89.5%であり、新タイプ校の特徴を活用し、多様な学習機会を設け、生徒一人ひとりのニーズにきめ細かく対応した取組の成果といえる。

一方で、「生徒の興味・関心や進路希望に基づいた、新タイプ高校の校種の長所の活用」、「校外学習や地域との連携など、地域の教育資源を教育活動へ活用する能力」についての達成群が約78%、約74%（平成25年度は約72%、約70%）であり、他の項目と比べてやや低い結果となった。

